

全日本病院協会 会員病院
各位

公益社団法人 全日本病院協会
会長 猪口 雄二
医療の質向上委員会
委員長 今村 康宏

「DPC分析事業 MEDI-ARROWS IIIrd」 無料テストユース募集のご案内 ～2024年10月リリース新機能のご案内～

平素は当協会の活動につきまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、MEDI-ARROWS IIIrd にリニューアルした直後から参加病院の意見・要望を取り入れる事で、更に使い勝手も向上しております。

今回、以下の新機能を追加したのでご案内いたします。

【2024年10月リリース新機能】

1. 看護必要度モニタリング (TOP画面)

2024年度の診療報酬改定で変更のあった「看護必要度」の判定基準①、②の達成状況をTOP画面で簡単に確認。経営層及び各病棟(看護部)・事務部門において病院全体・病棟別のモニタリングが可能です。*1

*1：標準ライセンス:定型画面20 ※別途有償追加可

2. 入院経路別ダッシュボード

入院経路別(救急車搬送・他院紹介・外来)指標をご提供いたします。診療科・疾患(DPC)・主治医・市町村別まで細分化する事で患者増減要因を特定。地域連携室や医師への情報提供を通じて入院患者増加に貢献します。

会員病院の皆様方には是非、**無料テストユース**をこの機会にご体験ください。(申込から使用開始まで約2週間、お試し期間は2か月)。

<MEDI-ARROWS IIIrd テストユース申込方法>

参加を希望される場合は全日本病院協会HPの
「DPC分析事業」のページよりお申込みください。
<https://www.ajha.or.jp/hms/dpc/index.html>

DPC分析事業



(お申込・お問い合わせ先)

公益社団法人 全日本病院協会事務局 DPC分析事業担当
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル 11F
TEL 03-5283-7441 FAX 03-5283-7444 E-mail dpc@ajha.or.jp

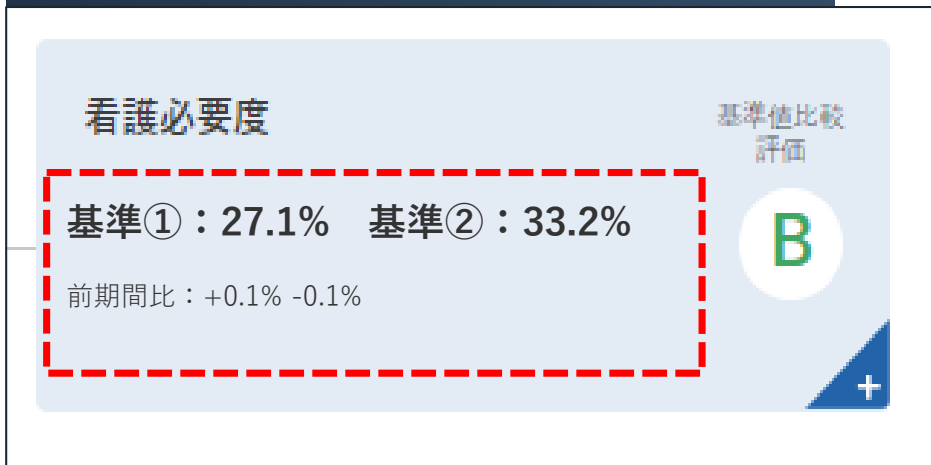
2024年10月リリース新機能の概要

※表示されている画面は開発中のものです。

※表示されている画面は新機能の一部です(2024年10月時点)。詳細は当協会HP「<https://www.ajha.or.jp/hms/dpc/index.html>」参照。

1. 看護必要度モニタリング (TOP画面)

ロジックツリー(カード)



マスタ設定画面にて、7対1用の看護必要度を表示するよう設定した場合は基準①と基準②の2種類を表示する。

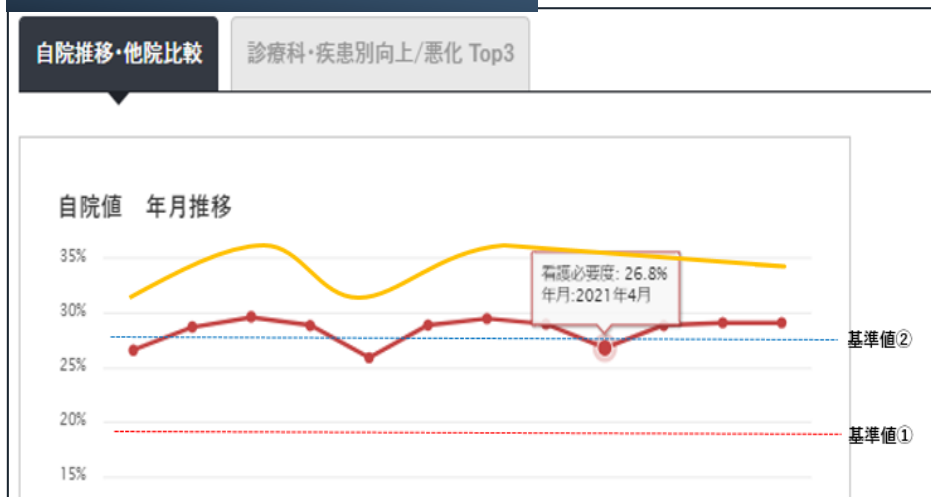
なお、「基準値比較評価」は以下のルールで表示する

- ・基準①と基準②の両方を超過達成 ⇒ 「A」カードの色: 青
- ・基準①と基準②の片方を達成 ⇒ 「D」カードの色: 赤
- ・基準①と基準②の両方を見達成 ⇒ 「E」カードの色: 赤

<基準値>

- ・看護必要度 I の場合: 基準① 21% 基準② 28%
- ・看護必要度 II の場合: 基準① 20% 基準② 27%

年月推移グラフ



マスタ設定画面にて、7対1用の看護必要度を表示するよう設定した場合は基準①と基準②の2種類について、折れ線グラフと基準値を表示する。

<折れ線グラフ>

- 基準①: 赤に○マーカー ※現在の表示の通り
- 基準②: 青に□マーカー ※新規追加

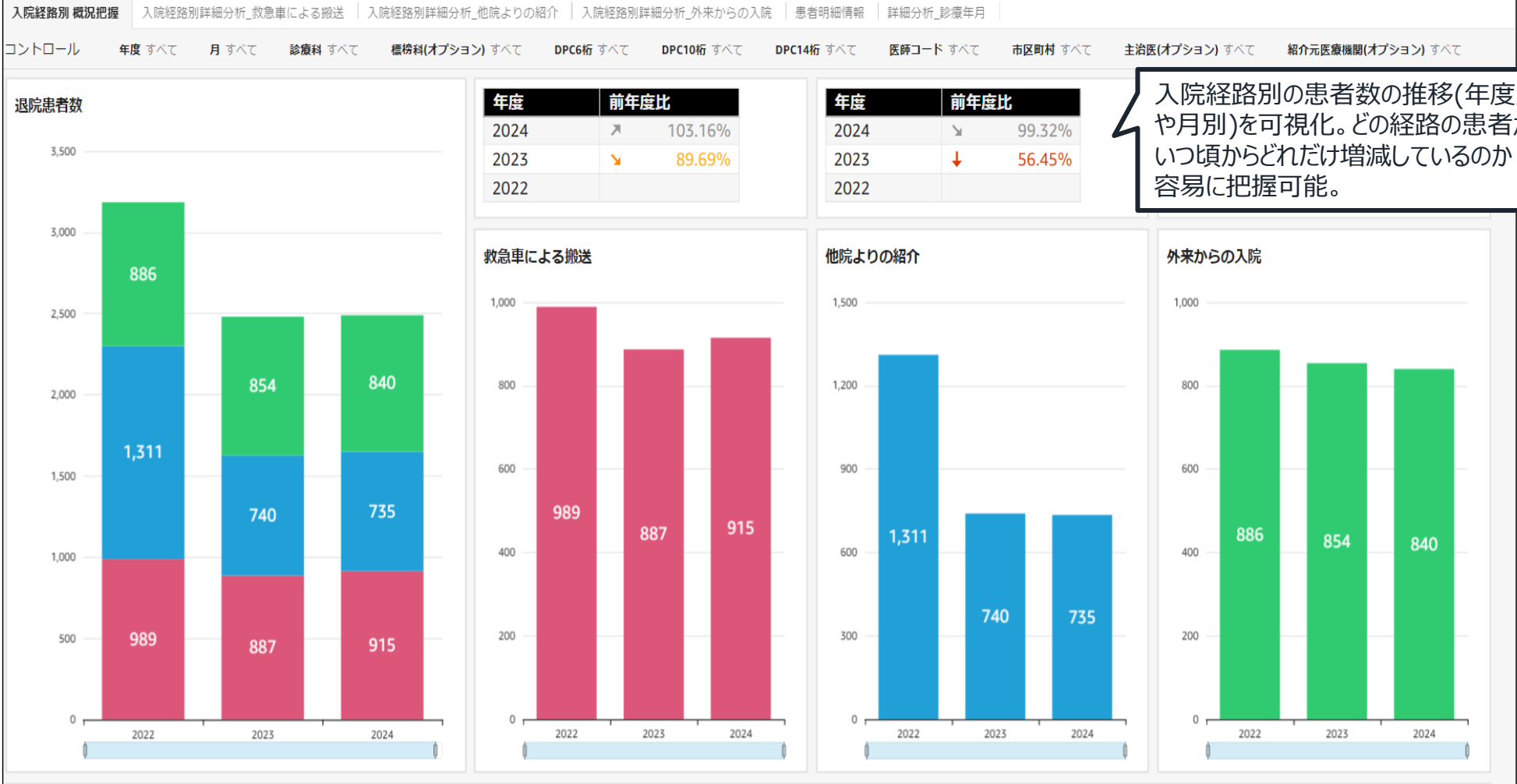
<基準値 (Y = 基準値の箇所に横一線の破線を表示) >

- 基準①: 赤の破線
- 基準②: 青の破線
- ・看護必要度 I の場合: 基準① 21% 基準② 28%
- ・看護必要度 II の場合: 基準① 20% 基準② 27%

2. 入院経路別ダッシュボード

増患対策に向けた入院経路別(救急搬送、紹介、外来からの入院)の実態を可視化。

入院経路別 概況把握



全日病DPC分析システム（MEDI-ARROWS IIIrd）について

1. 導入・使用料（税別）・サービス一覧

利用開始月から3月末日までの年間利用となります。利用開始翌年度からは、年度更新となります（年度途中の参加の場合、初年度は参加月から年度末までの月割となります）。

病床数 (総病床数)	フルパッケージ版		Lite版	
	初期費用	利用料（年）	初期費用	利用料（年）
0 ～ 200	※ 価格については全日病事務局へお問い合わせください。			
201 ～ 300				
301 ～ 400				
401 ～ 500				
501 ～				
機能範囲	定型機能、自由分析機能		定型機能	
標準ライセンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定型機能：20ライセンス（上限） ・ 自由分析機能：3ライセンス（閲覧権限） 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 定型機能：20ライセンス（上限） 	
(追加ライセンス)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自由分析機能（1追加）：①閲覧権限、②作成権限 ※ 価格については全日病事務局へお問い合わせください。 		-	
標準データ量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去4年分+当該年度 			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ Lite版からフルパッケージ版に移行する場合、病床数に応じた初期費用並びに利用料が発生します。 ・ 操作説明会は初期費用内に含まれます。（開催方式：集合研修 or Web、開催時期：10月中～下旬） 			

2. 新たなサーバー機器の設置が不要

MEDI-ARROWS IIIrd クラウド環境を利用し、サービス提供をしております。病院内に新たにサーバー機器を設置する必要はありません。既にインターネット回線をお持ちであれば、新たに回線を用意する必要もありません。

3. 新たなデータの用意が不要

厚生労働省へ提出されているDPC調査データのみ使用するため、新たにデータを用意する必要はありません。

4. 診療情報分析

経営指標（収入、症例数、紹介率、看護必要度基準）や、臨床指標（平均在院日数、手術実績、ジェネリック使用率）など、よく使われる指標の分析画面を装備しております。見たい箇所をクリックし、簡単な操作で分析ができます。

5. 自由分析（※フルパッケージ版のみ）

MEDI-ARROWS IIIrd は、他院事例や各種指標を自由にダウンロードして二次利用を可能にしています。また、分析代行サービスの提供も行っているため、分析時間が十分に確保できない、分析に不慣れな方へも十分なフォロー体制を整えております。

<全日病DPC分析システム（MEDI-ARROWS IIIrd）の主な特徴>

1. 誰でも経営課題をパッと把握 経営指標ロジックツリーで経営状況を可視化。ベンチマークで課題を一目で把握可能です。
2. 改善効果をパッとシミュレーション ベンチマークを基準にカンタンに目標設定。各指標への影響も考慮し改善効果を予測します。
3. 病院独自のレポートをパッと作成 必要なデータ、グラフ形式をクリックするだけで、カンタンに病院独自のレポートを作成する事が出来ます。